

事務事業名		森林整備推進事業費補助金		所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	林業グループ	課長名	内田 俊行	
	施策名	(35)林業の振興		担当者名	佐藤 健太	電話番号	0854-40-1050	
	目的対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。				
	基本事業	(101)適正な森林管理		予算科目	0:130:0:3	大事業名	森林整備・木材利用促進等事業	
目的対象	市内の森林	意図	適正に管理する。				中事業名	森林整備推進事業費補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民・林業事業体	市内の森林整備面積の拡大
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R2 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	◆森林所有者及び森林所有者から委託を受けた林業事業体等が行う造林、保育、作業道整備、木材搬出等に要する経費を支援し、森林整備の促進を図る 補助メニュー ①新植支援事業、②保育(下刈・除伐)支援事業、③既存作業道の簡易改良支援事業、④原木搬出作業道開設支援事業、⑤木質バイオマス搬出支援事業、⑥保育間伐支援事業、⑦搬出木材流通支援事業、⑧森林再生支援事業
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①新植支援:5件 7.43ha ②保育支援:4件 33.10ha ③既存作業道の簡易改良支援:3件 4,410m ④原木搬出作業道開設支援:3件 2,615m ⑤木質バイオマス搬出支援:5件 1,788t ⑥保育間伐支援:2件 2.91ha ⑦森林再生支援:3件 2.14ha	森林環境譲与税を財源に、森林整備への支援として森林整備推進事業費補助金をR2年度に創設し、市内の森林整備の促進による林業の活性化を図った。 また、補助金の見直しワーキング会議を開催し、既存補助事業の改善や新規事業について検討した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 補助整備面積(新植・保育)	ha		19.0	43.4	110.0
イ 補助整備量(作業道)	m		3,466.0	7,025.0	10,500.0
ウ 森林組合等林地残材搬出量	t		2,072.0	1,788.0	2,000.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
補助金交付申請件数25件		財源内訳	国庫支出金	千円				
①新植支援:5件 7.43ha 1,486千円			県支出金	千円				
②保育支援:4件 33.10ha 1,059千円			地方債	千円				
③作業道簡易改良支援:3件 4,410m 1,075千円			その他	千円				
④作業道開設支援:3件 2,615m 2,615千円			一般財源	千円		9,869	11,804	24,905
⑤木質バイオマス搬出支援:5件 1,788t 5,364千円		事業費計		千円	0	9,869	11,804	24,905
⑥保育間伐支援:2件 2.91ha 79千円								
⑦森林再生支援:3件 2.14ha 126千円								

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	森林環境譲与税を活用した森林整備に対する補助事業により、市内の森林整備に資することができた。前年度と比較し整備面積は増加傾向にあるが、より多くの森林整備を推進する必要がある。
② 事業実施するうえでの課題	森林整備に対する支援については、森林所有者、林業事業体から強く要望されており、継続して実施することが求められている。また、より森林整備が進むための新規事業の検討、既存事業の見直し等、補助対象者が活用し易い補助事業になるよう対応する必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	年度中途に補助金内容の見直しワーキング会議を行い、必要な事業の新設や既存補助事業の内容の改善を検討した。市内の森林整備を促進するため、改善を要する部分については対応する必要があるため、適宜ワーキング会議等により見直しを図る。